

飯能西中だより



天覧山 10月増刊号

飯能市立飯能西中学校
学校だより
令和6年度 第7-2号
令和6年10月22日発行

<校訓> 誠・和・進 <学校教育目標> 自立・共生

<目指す学校像> 心のよりどころとなる世界に誇れる学校

みんなが一緒に生活していればいろいろなことがあります。けれども、これら一つ一つに真摯に向き合うことを通して、私たち一人一人がお互いに大切にされていることを実感し、家に帰った時には、元気よく「ただいま」と言えたらよくありませんか。生徒にとっても、先生にとっても、そんな学校でありたいと思います。

校長 中村 公一

最近になってようやく秋らしくなってきました。時折、日中の蒸し暑さを感じることはあるものの、朝夕の涼しさは日ごとに増し、ご家庭での衣替えも一気に進んだのではないのでしょうか。学校におきましては先週のはじめに中間テストを終えたところで、生徒達は今月の30日（水）に行われる合唱祭に向けての練習に次第に熱が入り始めています。3年生にとってはこれが中学校生活で最後の大きな行事となるだけに、彼らにとって悔いのない取り組みが出来るかどうか大変気になるところです。1・2年生の皆さんにはそんな3年生の思いを感じ取り、行事ごとに垣間見られる西中生らしさを大切にしてほしいと思います。

ところで今年の夏ごろから全国的にマイコプラズマ肺炎への感染が増えていますが、埼玉県での感染率は全国平均を上回っており、過去10年で最多だそうです。子どもを中心に感染すると言われていますが、大人でも感染するケースが増えているとのことです。油断せず手洗いや咳エチケットなどの感染対策を徹底したいものです。

学校の様子を紹介します（10月）



田中先生とのお別れ会（3年）



気づき掃除にとりくむ西中生



会議室前の新聞台



テスト前の朝自習の様子



生徒会本部役員による飯能第一小学校での挨拶運動

体育祭（10月2日）

以前ご案内したとおり、今年の体育祭は平日開催としました。幸い天候にも恵まれ、各色団ともそれぞれが一丸となって熱戦を繰り広げ、思い出に残る素晴らしい体育祭となりました。



自転車に乗るといのは車両を運転することです

生徒の皆さんへ

前号でお話したように、西中生は挨拶がよくできると地域の方からお褒めの言葉をいただけるようになりました。皆さんの日々の心がけが地域の方にも伝わっているのだと思います。しかしその一方で残念ながらお叱りを受けていることがあるのです。それは皆さんの交通マナーのことです。特に登下校における自転車の乗り方については、以前からも「スピードを出しすぎている」「一時停止や信号を守っていない」「通行区分を守っていない」という指摘があり、皆さんにもその都度注意喚起を行ってきただけですが、特に最近になって「マナーが改善されないようであれば自転車通学を全面的に中止してほしい」という厳しいご意見も届いています。事故を起こした場合、その大小にかかわらず加害者には賠償責任が生じますが、それは謝ったりお金を支払えば済むというような問題ではありません。また事故による怪我では後遺症が残ることも多く、加害者と被害者双方にとって一生癒えない傷を残すことになりかねないのです。これはずいぶん前にお話した事なので初めて聞くという人も多いと思いますが、私自身、高校生のときに通学途中に自転車に乗っていて事故にあい大変な目にあっています。そのときの傷は今も顔に残っていますし、今でも体の不調を感じるがあります。加害者になってしまうと被害者の苦しみに一生向き合わなければならないということを改めてよく考えてみてください。

保護者の皆様へ

上の生徒向けコラム欄にも書きましたように、生徒の自転車利用をはじめとした交通マナーに対して、地域の方から大変厳しいご意見をいただいています。交通事故は加害、被害に関係なく、当事者のみならずその家族をも巻き込み、場合によっては一生に影響を及ぼすことになりかねません。このことを踏まえ、ご家庭におきましても改めてお子様の交通安全意識に対するご指導をお願いいたします。



9月30日（月）から10月11日（金）にかけて教育実習がありました。国語と体育で2名の実習生が来ました。

生徒会役員選挙が10月24日に行われます。各候補者はクラスを回って支持を呼びかけるなどの選挙活動を行っています。



入間西部地区駅伝大会が10月17日（木）に阿須運動公園で行われ、西中からは男子、女子それぞれ2チームが出場しました。